

診療報酬が語る歯科への大いなる期待

にわたる糖尿病内科 院長 西田 亙



Movie Index (2020年講演)

- 1 はじめに
～歯科は、医科・国から期待されている～ (2分12秒)
- 2 糖尿病と歯周病における医科歯科連携の歴史
～2008年 糖尿病治療ガイド、
2016年 糖尿病診療ガイドライン2016・
糖尿病連携手帳第3版・P処(糖)～ (10分10秒)
- 3 糖尿病と歯周病における医科歯科連携の歴史
～2017年/2018年 骨太の方針、
2018年 診療情報連携共有料～ (6分57秒)
- 4 糖尿病と歯周病における医科歯科連携の歴史
～2019年 糖尿病診療ガイドライン2019～ (3分2秒)
- 5 2020年
糖尿病患者への機械的歯面清掃処置 (5分9秒)
- 6 2020年
産科と歯科の連携(診療情報提供料(Ⅲ)) (4分3秒)
- 7 2020年
医科への歯科受診啓発
(生活習慣病管理料の要件の見直し) (2分50秒)
- 8 2020年
病院と歯科の連携(歯科医療機関連携加算2) (4分18秒)
- 9 2020年
糖尿病連携手帳第4版に記された歯科への期待 (2分51秒)
- 10 人生100年時代における歯科の重要性 (6分29秒)
- 11 令和は炎症を通じて口腔と全身がつながる時代 (3分55秒)
- 12 おわりに ～人生100年時代は健口から健幸へ～ (2分2秒)



ぜひご視聴いただき先生の日常診療にお役立てください。

ジーシー昭和薬品 医科歯科連携 検索

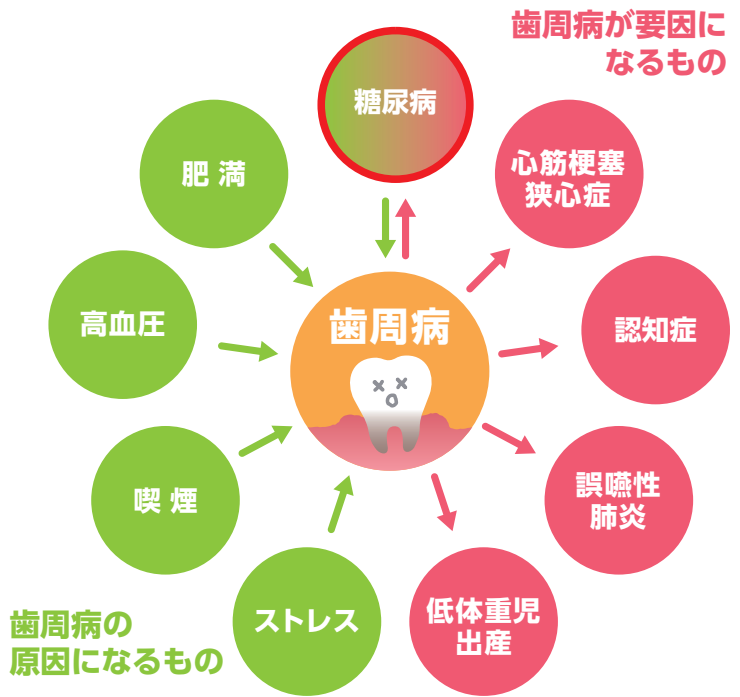
一人の患者さんを医科と歯科が支え合う

歯周病は、口の中の細菌によって歯ぐきに炎症が起こり、歯を支える骨が壊されていく病気ですが、口の中だけの病気ではありません。

歯周病は、様々な全身疾患と関係性があることが知られており、生活習慣病の一つとして位置づけられています。特に、歯周病と糖尿病は密接な相互関係があることから、歯周病は糖尿病の第6の合併症と捉えられています。

歯周病の予防や治療は、口全体の「健口」維持と身体全体の「健康」維持に繋げるためにとっても大切なことです。

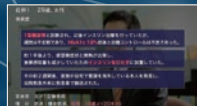
本コンテンツでは、一人の患者さんを医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、検査技師、栄養士などの様々な分野のプロフェッショナルが、口と全身を通じて支え合うことの重要性を解説していきます。



Movie Index (2016年講演)



① 医科と歯科の連携 (4分39秒)



② 口腔感染症の恐ろしさを痛感させられた糖尿病の2症例 (8分37秒)



③ 炎症で繋がる糖尿病と歯周病 (8分10秒)



④ 歯周病の恐ろしさを知ったキッカケ (9分31秒)



⑤ 私が歯周病を熱く語るワケ (4分36秒)



⑥ 医科から歯科へのエール (12分10秒)



⑦ 健やかなお口から、より健やかにより幸せに (3分53秒)

Movie Index (2018年講演)

※本動画は2016年にご講演の「炎症を通してつながる歯周病と糖尿病～口腔感染制御が医科と歯科を結ぶ～」の「⑥医科から歯科へのエール」の第2弾として新たな情報を加えてご講演いただいた内容です。



① 医科歯科連携の意義 (3分54秒)



② EuroPerio9で歯周病が糖尿病・炎症とつながる (5分17秒)



③ 糖尿病領域における日本の医科歯科連携の歴史 (12分17秒)



④ 歯科に期待！診療情報連携共有料による連携 (9分53秒)

